

は じ め に

当研究所の業務については、日ごろ、格段の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

鳥取県では、所属ごとにミッション（使命）を定めており、当研究所のミッションを「県民の安全確保と豊かな環境確保のための調査研究機能の発揮」としています。その柱として、危機管理対応、環境の保全・再生と活用に資する研究、住民・NPO等の活動支援をあげています。

さて、危機管理の点から観れば、昨年あれほど猛威を振るった新型インフルエンザはすっかり影を潜めた感がありますが、本年はノロウイルスによる感染性胃腸炎の大規模流行が危惧されています。また、環境問題については、日本列島では昨年到现在2年連続して異例の「師走の黄砂」が観測され、もはや春の風物詩と言われられないような状況であり、これらの問題に対応する必要な調査研究を実施することが重要であると改めて認識しているところです。

また、地域的課題として、湖沼の自然再生・ワイズユースや廃棄物等のリサイクル、さらには環境を基軸にして環境産業や新たな雇用を生み出すグリーンニューディールへの積極的な取り組みも進めていますが、このような調査研究を進めるには当研究所と異なる技術を有する他機関との共同連携が重要であり、大学や農林分野の研究機関等との連携を強化しているところです。

本年報は、平成21年度に当研究所で実施した調査研究や業務の成果をとりまとめたものです。これらについては、県のホームページや出前講座、大学や他の試験研究機関との共同シンポジウム等を通じて、広く県民の皆様提供していきたいと考えております。

県民の皆様方のニーズを的確に把握し、応えられる研究により一層努力していかなければならないと考えておりますので、内容などについて皆様からの忌憚のない御意見をいただければ幸いに存じます。

平成22年12月

鳥取県生活環境部衛生環境研究所

所長 長谷岡 淳一